

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		8/11~8/18	8/17~8/25
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.050
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.079
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.040
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.061
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.046
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.033
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.052
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.080

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		8/11~8/18	8/17~8/25
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.030
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.021

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

南相馬市は、大気浮遊じん中の放射能濃度を間断なく測定しており、放射性セシウム濃度は、異常値を観測することなく、平均値が0.064mBq/m³と低い値で推移していますので健康影響について心配はいりません。

それにしても、この10年間は、原子力発電所事故に加え、変異の激しい新型コロナウイルス禍がおり、人々は不安な毎日を送っています。どのように安全で住みやすい国を実現するか、いま、私たち一人一人が、原発事故とウイルス禍のこれまでの経験を生かし、しっかりと考えていく必要があると思います。